

発言No. 19

受付No. 22

令和 3年 6月 10 日  
10 時 54分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 12 番

氏名 笹田 卓

答弁を求める者  
(○をつける)

市長   教育長   監査委員   選挙管理委員会委員長  
 農業委員会会長   固定資産評価審査委員会委員長   公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 水産業振興について

##### (1) 浜田漁港の水揚減少について

- ① 令和2年の浜田漁港の水揚金額は過去最低の約36億円であったが、令和3年も昨年より水揚が減っている。地元まき網船が1ヶ統しか稼働していない中、厳しい状況が続いている。対応策について伺う。
- ② このまま水揚が激減すると浜田市の水産業や関連企業は壊滅的な打撃を受ける恐れがある。民間で厳しいなら公設民営で船団を運営することも考えていかなければならない。その考えについて伺う。

#### 2 農業振興について

##### (1) 3つの振興作物の産出額減少について

- ① 平成26年度に「大粒ぶどう」「赤梨」「西条柿」が浜田市の振興作物に選定された。平成27年度から今年度の7年続けて施政方針で振興作物として力を入れていくとあったが、3品とも産出額が減少している。その原因について伺う。
- ② その対応策について伺う。
- ③ 特に「赤梨」は平成20年対比で87%減と厳しい状況が続いている。これまで以上に支援が必要だと考えるが対応策について伺う。

#### 3 新型コロナウイルスワクチン接種について

- ① 高齢者のワクチン接種について、当初の計画では個別接種のみだったが、集団接種を追加された。多くの市民に混乱と迷惑をおかけしている。首相は、6月9日に国会の党首討論で10月から11月にかけて希望する国民全て終えることも実現したいと表明された。65歳未満のワクチン接種については、このような混乱をさげ、ワクチンが届き次第、待つことなく円滑に接種する必要がある。計画はどうなっているのか伺う。



発言No. 20

受付No. 11

令和 3 年 6 月 10 日  
9 時 24 分

受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員  
会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 断水解消に向けての取組について

##### (1) 断水解消の取組について

- ① 3月定例会議以降の取組について伺います。
- ② 5月19日に頂いた資料の金城地域の施設別漏水箇所、配水管(浜田市管理部分)2件、給水管(個人管理部分)漏水 325件 水系別に伺います。

##### (2) 断水防止対策について

- ① 黒川水系、波佐水系の断水対応は異なっている、タンクの増設、また、減圧弁と制水弁を調整し対応と伺っているが、これで今年度冬季に断水を起こさない対策として十分だとの認識なのか伺います。
- ② 被害状況実態調査票の実態と、その対策について伺います。
- ③ 大口利用者に使用水量を抑制するよう協力をお願いすると伺っているが、どの様に取り組みられるのか伺います。

④ 給水施設の止水栓台帳の整備について伺います。

⑤ 凍結被害対応のマニュアルの見直しの内容について伺います。

発言No.

21

受付No.

17

令和 3 年 6 月 10 日

10 時 32 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番

氏名 小川稔宏

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 ヤングケアラーの実態把握と必要な支援について

国の調査結果では中高生の約 20 人に 1 人が家族の介護や家事を担い、世話を割く時間は 1 日平均 4 時間で、7 時間以上との回答も 1 割あり、学習時間に影響する深刻な実態もある。学校含め「相談したことがない」が 3 分の 2 程度で外からの支援が不可欠である。

##### (1) ヤングケアラーに対する支援策について

- ①国のヤングケアラー実態調査の結果が出たが、浜田市の実態との関連性を伺う。
- ②相談しやすい環境、支援の必要性のある事例への取組などの対応状況について伺う。

#### 2 「生理の貧困」とジェンダー平等について

経済的事項から生理用品が満足に買えないことでの健康への影響や、親から買ってもらえないといったネグレクトの問題も指摘されている。古来からの迷信・差別や偏見の払拭も課題である。

##### (1) 生理用品の無償配布について

- ①先進自治体では生理用品の無償化の動きがある。災害用備蓄品の入替時の配布状況及び市民への周知について伺う。
- ②学校や図書館など公共施設で生理用品を無償配布すべきと考えるが所見を伺う。

##### (2) ジェンダー平等・多様性の推進について

- ①パートナーシップ宣誓制度の導入や、性的指向及び性自認 (SOGI) に関する差別禁止の取組などにより啓発と意識の醸成を図るべきと考えるが認識を伺う。

#### 3 難病患者及び家族への支援策について

指定難病に対しては医療費助成などが整備されているが、難病でありながら「患者数が人口の 0.1% 程度に達しないこと」という基準により、指定難病に該当しない難病患者には支援制度がないため、精神的・経済的に生きづらい実態がある。

##### (1) 指定難病の要件緩和について

- ①指定難病適用外の難病患者及び家族の現状を把握し、市の判断で実施可能な支援策を検討すべきと考えるが、現在の状況を伺う。
- ②指定難病要件や障害年金給付条件の見直し等も含め、適用外の難病患者への支援拡充を国・県へ要望すべきと考えるが所見を伺う。



発言No.

22

受付No.

14

令和 3年 6月 10日

10時 16分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 9番

氏名 野藤 薫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 浜田市の医療体制について

#### (1) 浜田医療センターの充実支援について

コロナ禍において、改めて県西部の高度急性期医療の拠点病院である浜田医療センターの重要性が増している。他県の感染拡大により医療センターへの通院や手術件数も増加しているようだ。国立病院機構の独立法人であるが、浜田市として出来る支援（応援）策について伺う。

#### ① がん診療の実績数の増加について伺う。

浜田医療センターは2002年9月より県西部で唯一、国指定の地域がん診療連携拠点病院だ。公表している2016年からの症例報告ではがん治療数が年々増加している。浜田市のがん検診等の結果によるものなのか伺う。

#### ② 産婦人科の医師、診療体制について伺う。

浜田、江津での分娩出産は浜田医療センターと済生会江津総合病院が担っている。分娩数は平成30年から減少し昨年は約350症例だ。浜田市はお産応援システムで協力体制を敷いているが、今後について伺う。

#### ③ 診療科の充実について伺う。

浜田医療センターは29の診療科が開設されているが、大学病院などからの派遣も多いという。地域からは耳鼻咽喉科や乳腺科などの要望を聞く。ご所見が有れば伺う。

④ 新型コロナ感染症の感染拡大での支援策について伺う。

浜田市での感染者数は6月10日で30症例で医療センターの入院者数は公開されていないが、感染防止策はきちんとされている。陰圧テントは供与されたが、他の支援策が有れば伺う。

⑤ 看護学生への支援について伺う。

全国では病院付属看護学校から医療看護系の大学への希望が増えている。今年度は47名の入学があったが、浜田市は入学希望者への奨学金を設けたが現状について伺う。

(2) 新型コロナワクチン接種での市内医療機関との連携について

市内診療所での予約がなかなか取れないと市民からの声がある。集団接種が6月19日受付開始され、7月3日から接種が開始される。

① 集団接種の体制について伺う。

国は歯科医師、救急救命士、臨床検査技師も接種を行えるようにし、薬剤師が診断に協力出来るようにしたいと発表されたが、浜田市の体制について伺う。

② 今後の始まる一般接種への体制について伺う。

優先順位について自治体の判断だというのが、浜田市はどの様にされるのか伺う。

2. 浜田駅前の岩多屋跡地の活用と賑わいづくりについて

令和2年末駅前広場がリニューアルしたが、ほどなく本年3月浜田駅前の老舗岩多屋ビルが53年の幕を閉じた。浜田市の顔である駅前の再興にと商工会議所から5月に陳情が出された。このことは久保田市長への期待感であると考えている。

① 商工会議所の陳情に対する市長の考えについて伺う。

② 要望にある世代を超えた『集う場』としての活用について伺う。



発言No. 23

受付No. 10

令和 3 年 6 月 16 日  
9 時 16 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける)  農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 ウッドショックによる公共施設建設への影響について

世界的な木材の高騰により建築資材全般の価格が上昇し、昨年と比べて木材価格は 3 倍近くの値上がりに加え、買い占めにより建築資材全般の価格が上昇し原材料不足により工期も見通しが立たないと報道されており、建設業界は大混乱に陥っている。今年度は病児・病後児保育室整備や子育て世代包括支援センターなど、複数の建設工事が、計画通りに進むのか疑問に思い以下のとおり質問する。

- ① ウッドショックにより、市が計画している事業に及ぼす影響についての認識と、今年度計画している事業に影響を及ぼすと思われる件数を伺う。
- ② 建築資材の価格高騰により、当初の積算よりも大幅な増額が予想され、予想通りの影響が出ると、当初の積算による予算では設計通りの建物にはならないと思うが、現状の対応について伺う。
- ③ 資材価格の高騰と同時に資材調達も思うようにできない状況下であれば、工期も見通しが立たないように思うが、工期の延期をやむなしとするのか、何らかの方法で計画通りに行うのか伺う。
- ④ この事態により当初積算し設計した建設物を材料の高騰が理由で割高の建物にならないように、建設資材の価格が下がるまで建設時期を見合わせることも、考え方の一つではないかと思うが、市としての考えを伺う。

## 2 回覧板の電子化について

回覧板は町内会、まちづくり組織などが行うイベントや行政情報を周知する方法として昔から当たり前のように各家庭に必要な情報を伝達しているが、最近ではスマホを使って効率的に情報を届けるアプリなどが開発され、導入町内会がテレビニュースで報道されている。全体でいえば少数派ではあるが、コロナ禍により接触を避けることを目的に導入する町内会は、全国的にも増えている。世代によって導入への賛否が分かれるとは思いますが、役員の配る手間と印刷費用など負担軽減、情報を早く届けることで、管理しやすいことなど持つ人にとって利点は大きく、地域活動の広報を行うには非常に有効であること、今後はスマホを積極的に活用する世代が町内会役員を担うことになることを考えると導入した町内会には共感できる。回覧板を管理運営するのは町内会であり、導入する、しないは各町内会で考えて決めるべきことかもしれないが、住民の情報伝達の方法をより便利で合理化を図っていくこと進めることは、まちづくりを進めていくうえで、行政側にもメリットがあるように思い以下の通り質問する。

- ① 電子回覧板についての認識と導入を検討したことはあるのか伺う。
- ② 導入を検討する町内会、まちづくり組織から相談された場合の対応について伺う。